

**民主**  
PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

2010年8月8日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

**明日の日本  
生活が第一**



**衆議院議員**

民主党静岡県第3区総支

**小山のぶひろ**

氏に訊く

○ 臨時国会への抱負

参議院選挙の結果、民主党の議席が減少し、参議院においては、いわゆる「ねじれ国会」の状態となりました。私は「ねじれ国会」となったからこそ、より一層、世論のご支持を得られる法案、野党の皆様のご理解も得られる法案を作成・提出していく必要があると思っております。そのためにも、与党・政府は一層謙虚な姿勢で皆様の声に耳を傾けるとともに、ご支持をいただけるような政策を作成するために政策立案能力を高めていかなければならないと考えております。世論のご支持を得られれば、仮に野党が「反対のための反対」を行えば、野党が世論の支持を失うことになるでしょう。

また、野党提出の法案でも、良い法案については民主党も賛成していくべきだと思います。かつて小渕内閣のときに、民主党が提出した「金融再生法案」を当時の自民党が丸呑みしたことがありますが、今度は民主党が責任与党として、それを行う番だと思っております。

今回の参議院選挙において、政党への投票である全国比例選挙での得票数や候補者個人の得票数の合計では、民主党は自民党を大きく上回り、第一党でした。投票した有権者の皆様のご支持をいただいたことも事実ですから、謙虚でありつつも、自信喪失に陥つてはいけないと思います。今まで以上にご期待に応えるために、さらに良い政策・法案づくりに邁進すべきだと考えております。

**臨時国会への抱負・今こそ原点に立ち返る！**

○ 民主党に必要なこと

今、民主党は大変な試練の時を迎えています。しかし、このような時だからこそ、やはり原点回帰すべきと考えています。第一に、結党の理念、昨年の総選挙で政権交代に向けて訴えた「改革への情熱」を思い起こし、政策決定のプロセスにおいて、選挙の際の支援の有無からのみ判断する姿勢をやめ、公平・公正な姿勢で判断していくことです。第二に、市場原理至上主義と決別し、競争の中でどうしても生まれてしまう「格差」の是正を図り、「助け合いの共生社会」を構築するという衆院選のマニフェストの理念に立ち返ることです。第三に、事業仕分け等を通じて、行政機構や独立行政法人等を丁寧にチェックし、無駄をなくしていくとともに、国の借金をこれ以上増やさないように財政の健全化を図ること、その道筋を示すことが必要だと考えています。

課題はたくさんあります。しかしながら私は、同志の議員と力を合わせて、本当の民主党らしさを取り戻すため、原点に立ち帰るために、全力を尽くします。

衆議院議員  
小山 展弘



号外 静岡3区版

2010年8月8日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

# 明日の日本 生活が第一

衆院で予算委員会開く。

## 「国民の生活が第一。」めざす。

衆議院と参議院で2日から5日までそれぞれ、2日間ずつ総理以下全閣僚が出席して予算委員会が開かれ、民主党からは松原仁、城島光力、伴野豊、山口壯、松野頼久、岡島一正各衆院議員と櫻井充、辻泰弘、谷岡郁子、植松恵美子各参院議員が、それぞれに菅内閣の目標、来年度予算に関する質問を行いました。

菅直人総理は、自らの政治姿勢、目標に関する質問に、「国民の生活が第一。」と「元気な日本を復活させる」を大きな目標に、経済成長、財政再建、社会保障改革を一体的に進め、「負担があっても、誰もが安心でき活力ある社会を目指す。居場所と出番があり元気な日本を目指したい」と答えました。

さらに、来年度予算については、雇用、経済成長に資する分野、特に需要が多くこれから成長が期待できる分野である介護・医療・子育てに重点を置きたいとの考えを表明しました。さらに、特別枠を設け重点配分するとの考えを改めて表明しました。

また、野田佳彦財務大臣は、各議員の質問に答えて、税金のムダ遣いを排して、メリハリの利いた民主党政権らしい予算編成に取り組むとしました。

## 小山 のぶひろ

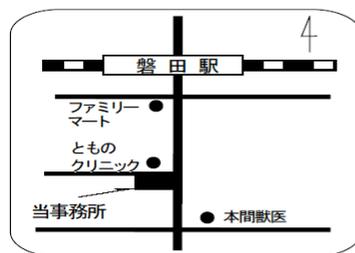
プロフィール

- 1975年 12月26日 掛川市(旧小笠郡 大須賀町)生まれ
- 1982年 大須賀町立横須賀幼稚園 卒業
- 1988年 磐田市立磐田西小学校 卒業
- 1991年 磐田市立第一中学校 卒業(水泳部所属)
- 1994年 磐田市立磐田南高等学校 卒業(弓道部所属)
- 1999年 早稲田大学 政治経済学部政治経済学科 卒業
- 2001年 早稲田大学大学院 政治学研修科修士課程 修了  
農林中央金庫(JAバンク) 入庫
- 2006年 農林中央金庫を退職し松下政経塾に入塾  
日本公共政策学会 入会(現在、日本公共政策学会員)
- 2007年 民主党静岡県第3区総支部長 就任(松下政経塾を自主退塾)
- 2009年 第45回衆議院議員選挙にて初当選  
衆議院議員(財務金融委員会・災害対策特別委員会に所属)  
磐田市中泉(西新町)在住



## 民主党静岡県第3区総支部事務所

438-0078 磐田市中泉(御殿) 656-1  
TEL 0538-39-1234  
FAX 0538-39-1235  
E-mail n\_koyama@aroma.ocn.ne.jp



※駅南口より  
徒歩3分

※ お気軽にご連絡・ご来所ください(磐田駅南口より徒歩3分)。